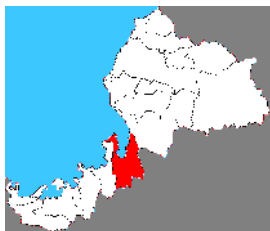


目次

白ポストとは	4
敦賀市の二つと一つ	5
各務原に白ポストは多分まだある	7
栗東市にはまだあるはずだ	9
甲賀市の駈	11
西宮市はまだまだわからない	15
三木市は白ポストを置き続ける	19
鳴門市は白ポストを集める	24
特集 香川県	28
高松市の駅前の白ポスト	29
綾川町の控えめな配置	33
琴平町が白ポストをかためる	38
宇多津の駅前の不思議	40
多度津駅前に立つ	41
三豊市に踏み入ると白ポスト	42
水巻町にはあったりなかったりする	45
中間市の白ポストは錆びている	47
小竹町の勝野駅から考える	50
飯塚市はそれなりにやる	51
遠賀川を見た	54
白ポストは田舎にあるのか	55
ウェブに見る白ポスト	56
第八回 「白ポスト点検 どんな物が出てきたのか」	
これで逃げ	57
第九回 ぐるっと九州きっぷ他	
都道府県別白ポスト事情	58
第九回 群馬県	
シリーズやっぱりなかった	60
第八回 中国山地の各地	

表紙： 世界各地の白ポストが並ぶ健全な飯塚駅前。中間市・三木町・長浜市・小竹町・綾川町・飯塚市の白ポストが集結しているぞ！ ※フィクションです

敦賀市の二つと一つ



福井県敦賀市は、若狭湾岸に在る、中世から漁業や海運関係で栄えてきた、高速道路と北陸本線が通り新幹線も建設中の、新快速の終点となって知名度を上げた小都市である。もっとも今は、何よりもまず、原発の城下町である。

敦賀駅

広々とした駅前通りを持つ敦賀駅【右の画像】は、バス乗場の整備等も進み、新幹線を受け容れる準備が整いつつある【右端の画像】。だが、これを言い換えれば、中心市街地を形成する国道8号から500mほど引っ込んだ山裾にあるということでもある。



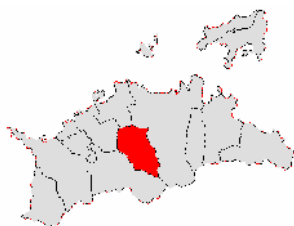
駅舎の外観は変わり、大規模な跨線橋が建設されたりもしている敦賀駅の改札付近【右の画像：2016年】には、まだまだ古い構造が残っている。

その一角の壁と柱が作り出す僅かな空間に、白い箱が置かれていた。所謂白ポストである【下の画像】。上には、「こ

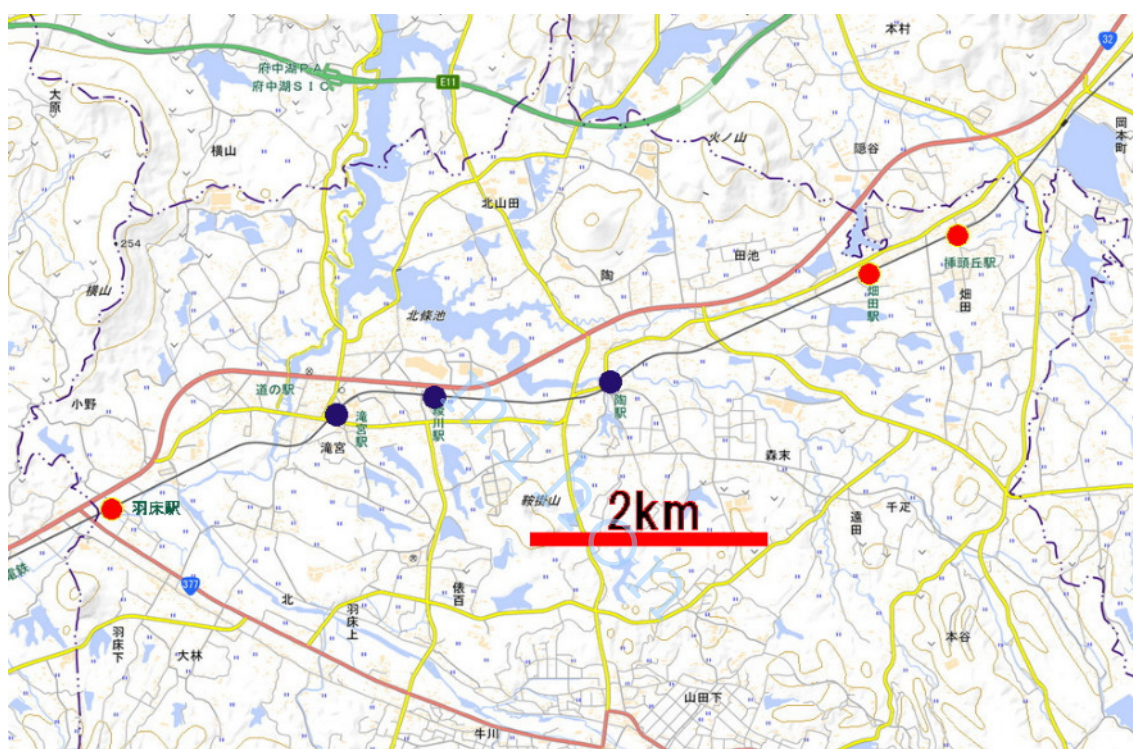


のポストは、有害図書を入れるものです。ゴミや新聞紙は入れないで下さい。」と書かれたものが貼られている。正面には、「青少年に有害な図書はこのポストにお入れ下さい」と書かれる。上の画像の点字ブロックが示す通り、ここも一つの通路に接している。しかし、自然な経路としてその横を通るのは、1日14本の小浜線の利用者だけである。その他の旅客は、改札を入れれば左へ逸れて地下通路を通る構造となっている。それ故、利用者はそれなりに目立ちかねない。

綾川町の控えめな配置



綾川町は、2006年の合併で成立した、高松市の南西に接し、高松空港の敷地の一部を有する町である。北部の綾南町だった地域に高松琴平電鉄琴平線が東西に走り、6つの駅が置かれる。そんな綾川町の2015年から2016年にかけての状況を報告する。



町北部は上図²⁵の通り、主要な交通路が東西方向に走る。赤丸の駅は「ある」駅、青丸の駅は「ない」駅である。

挿頭丘

高松市を出外れた琴電琴平線が町内に入ると、最初に挿頭丘駅に止まる。全列車が各駅停車で、ここまで来る便はほぼ一日中毎時2本に過ぎない。駅前は道路が広がった格好で、下方にある乗場は見えず、ただ看板だけが存在を示す【右の画像】。

看板に向かって右から見下ろすと、乗場が見える【左端の画像】。



²⁵ 国土地理院地図(<http://maps.gsi.go.jp/#14/34.250122/133.942223/&base=std&ls=std&isp=1&lcd=pale&vs=c0j010u0t0z0r0f0>)の一部を翻案した。

- 画像と言及あり
- 現地関連画像あり
- 言及あり

